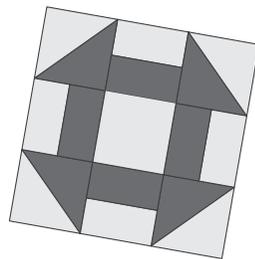


パッチワークを初めて挑戦される方に、「モンキーレンチ」というパターンを使ったタペストリーの作り方を

基礎編①～④でご紹介していきます。

パターンとしては簡単ですが、タテとヨコだけではなく、ななめの直線も入ったパッチワークらしいデザインのタペストリーをクローバーのパッチワーク・キルト用品を使いながら完成させましょう。



モンキーレンチ

用意する材料

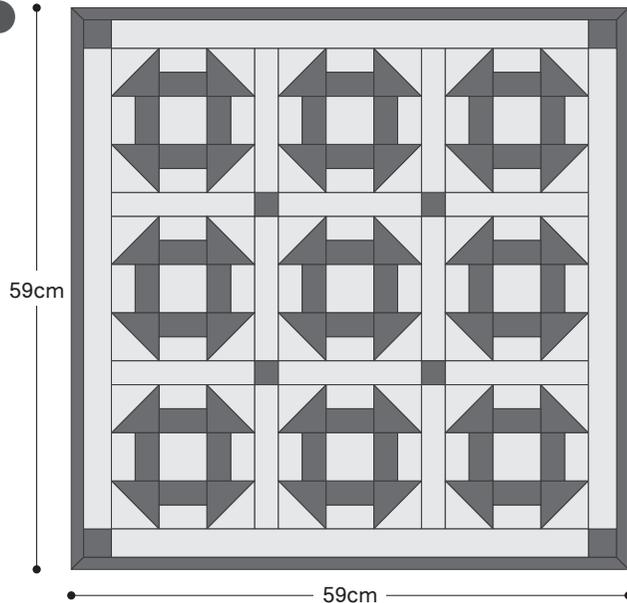
「布の選び方」は基礎編 ②

ピース用: プリント、チェック、ストライプ地の端切れを各適量
 ラティス用布: 20cm×55cm / ボーダー用布: 30cm×55cm
 パイピング用バイアス布: 5cm×250cm
 裏布: 65cm×65cm / キルト芯: 65cm×65cm

用意する道具

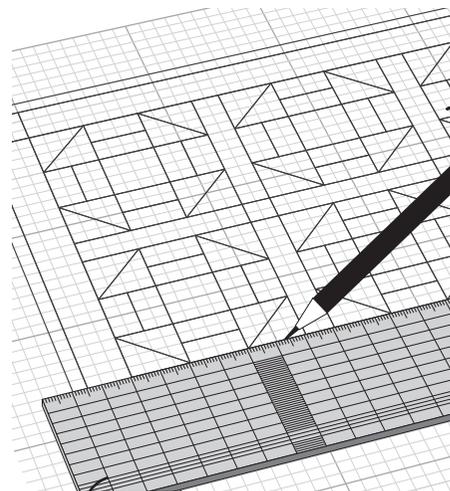
クローバーパッチワーク・キルト用品、鉛筆、色鉛筆、カッター、はさみ

完成図



1. パッチワークのデザインをします。 ～完成予定図を描く

まず、どのようなパターンで、何をやるのかというデザインをおこします。ここでは「モンキーレンチ」のパターンでタペストリーのデザインをします。色鉛筆などで全体の色彩を考え、布のイメージをふくらませましょう。



パッチワーク定規SEを使おう!

パッチワーク・キルト デザインノート

5mm方眼入・25枚セット
 本体310×310mm

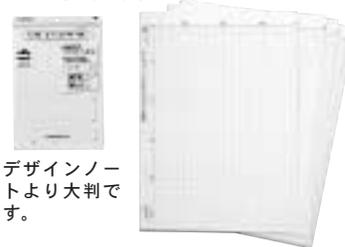
実寸大で製図ができます。
 用紙が透けるので写すことにも便利です。



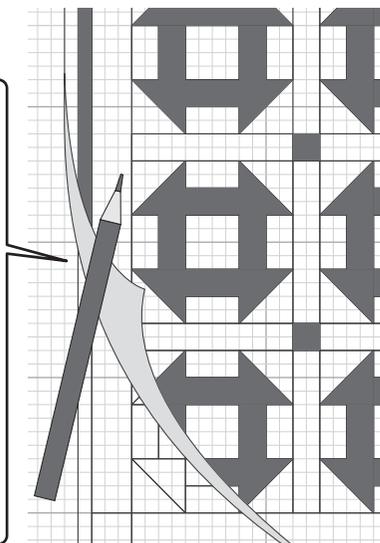
パッチワーク・キルトデザイン用紙

5mm方眼入・1袋5枚入
 本体580×420mm

用紙が透けるのでパターンを写したり色鉛筆が塗りやすいので作品の色彩を考えるのに便利です。

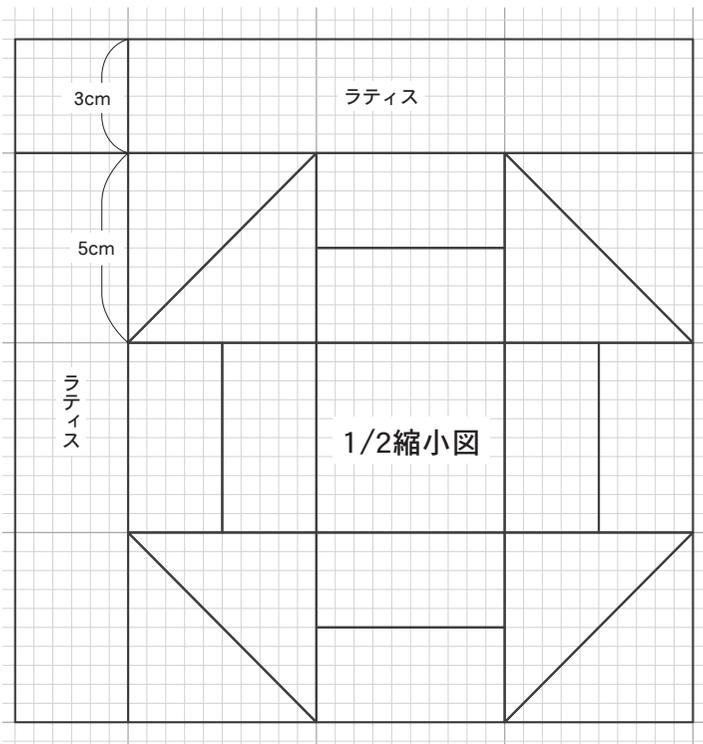


デザインノートより大判です。



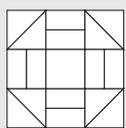
2.実寸大のパターンを製図します。

パッチワーク・キルトデザインノート(方眼用紙)を使うと、簡単に正確な製図ができます。

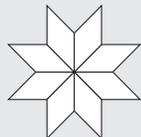


CHECK! 基礎のパターン例

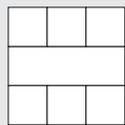
パターンの種類は数千にも及び、アメリカンパッチワークの代表的なものには名称がついています。ここでご紹介するパターンのピースは、表面に掲載している商品を使っても、簡単に作ることができます。



モンキーレンチ



レモン・スター



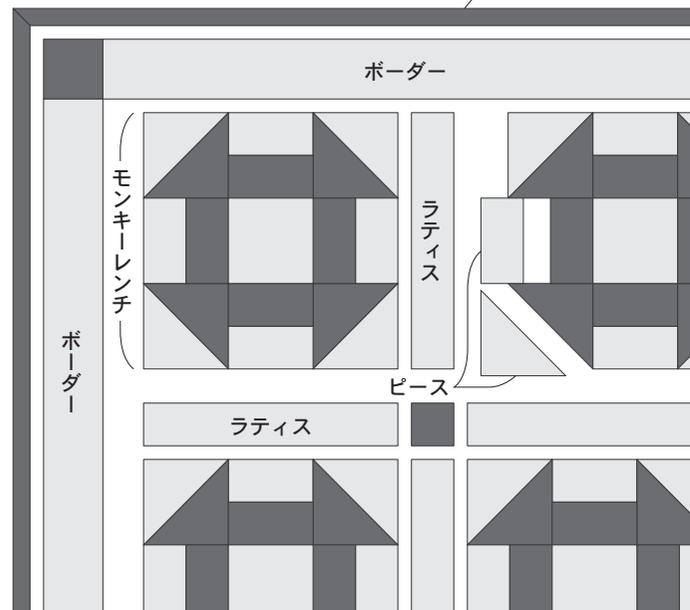
クロスパターン



おばあさんの花園

パッチワークの基本用語

タペストリーを作る場合の参考例 パイピング



ピース 四角形や三角形にカットした布地のこと。これをぬいつなぐのをピースワークや、ピースングといいます。

パターン ピースワークからできる一つの図案。ここでは「モンキーレンチ」のことを差します。アメリカンパッチワークの伝統的なパターンにはそれぞれ名称と意味があります。

ボーダー タペストリーなどの大きな四角状の作品の外回りにつける帯状の布地。

ラティス パターンとパターンの間に入れる帯状の布地。

トップ ピース、ラティス、ボーダーをぬいつないで作った表側の布の名称。アップリケやホワイトキルトの場合の1枚布もトップと呼びます。

裏打ち布 キルト芯の上にトップをのせ、その下に敷く裏布のこと。針通りのよい木綿地が最適です。

キルティング トップ、キルト芯、裏打ち布の三層をずれないようにステッチでぬうことです。

パイピング キルティングの外回りを細い幅のテープでくるみ、縁どりでぬい代を始末すること。パイアス布を使うことが多く、バインディングとも呼びます。